

シンガポール不動産私募ファンド SMFL、400億円で買収

三井住友ファイナンス&リース（SMFL）は11日、シンガポールの不動産運用大手ARAアセットマネジメントが運営する私募ファンド事業を買収すると発表した。買収額は2億7000万ドル（約400億円）。アジア太平洋地域の投融资ビジネスや運用資産残高（AUM）の拡大につなげる狙い。

SMFLは、子会社で不動産事業を手がけるSMFLみらいパートナーズ（東京都千代田区）のシンガポール現地法人と不動産運用会社のケネディクスを通じて事業を取得する。関係当局からの許可などを得られることを前提に、ARAアセットマネジメントと合意した。今後、ARAアセットマネジメントが運営する私募ファンド事業をカーブアウトした新会社「ARAベスト」を設立し、SMFLみらいパートナーズのシンガポール現地法人とケネディクスが出資する。新会社のCEOには、ARAアセットマネジメントの最高経営責任者（CEO）が就く予定。ARAアセットマネジメントは2002年

設立。シンガポール、インドを運営し、アジア豪州、韓国、米国などで太平洋地域で約1兆円で不動産投資信託（REIT）、不動産ファンド（M）を持つ。の運用資産残高（AUM）を持つ。